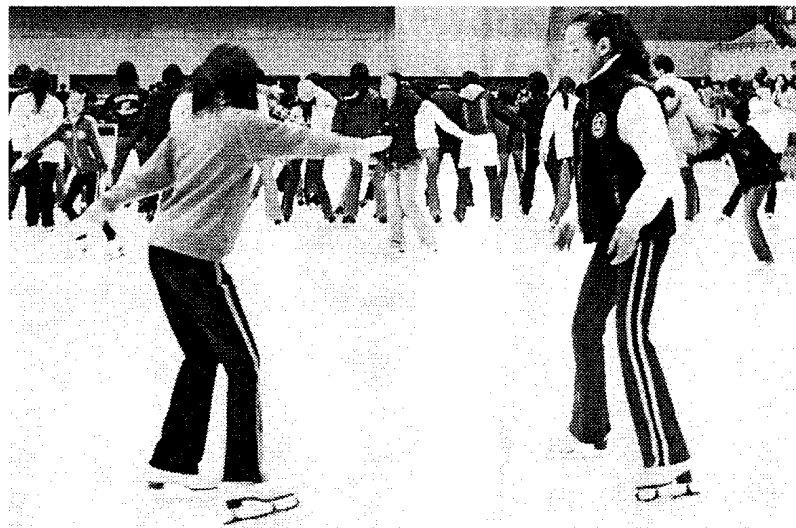


全国的にリンク減少…名コーチ集結

が今月、拠点を仙台市から名古屋市に移した。リンク閉鎖に伴う「苦渋の選択」だが、名コーチの名古屋進出は日本フィギュア界の一極集中化を加速させることになりそうだ。

(橋本謙太郎)

トリノ五輪で荒川静香(プリンスホテル)が金メダルを獲得したことでブームに火がついたフィギュアスケート。一方で練習場所となるリンクは全国的に減少傾向にある。荒川を高校時代まで指導した長久保裕コーチ



4月1日に行われた名古屋フィギュアスケートフェスティバルでは浅田真央(右)らトップ選手が小中学生を指導した

ファイギュア 熱い名古屋

H18.4.13

1ツセンター総務部の伊藤三郎次長は、女性で史上初めてトリプルアクセルを跳んだ伊藤みどりに「原点」を求めた。1992年アルベールビル五輪で伊藤が銀メダルを獲得すると「すっかり有名になり、お客さんがどっと増えた」。一般営業中にもトップ選手が練習を行っていたことから、「一般の人たちが、世界を身近に感じることができるようになるのが大きいのでは」と話す。

愛知県スケート連盟の久野千嘉子事務局長は「親が一芸に懸け、子供の練習をリンク周辺でじっと見つめるほど子供の習い事に熱心な土地柄。優秀なコーチが多いことも要因」と付け加えた。

嘆きの声も

有名コーチが参入することで、名古屋のリンクはさらに激戦になる。名古屋スポーツセンター所属インストラクターの山田満知子氏は「親御さんは子供が少しでも上手になることを探すもの。(お互いに)いい意味で伸びていければ」とエールを送り、長久保コーチも「いい選手がそばにいることで選手は刺激を受ける。名古屋にはすごい指導者がいて、僕も刺激になる」と発奮する。

伊藤が「原点」

名古屋は日本有数のフィギュアどころだ。昨年12月の全日本選手権では女子の上位6人中、4人が出身者だった。昨年度の登録選手数は220人で全国4位だが、質の面では他の都市の追随を許さない。5つのスケートクラブが拠点とする名古屋スポ

「本当はみんな連れてきたかったけれど、お金がかかるから…。でも、1年中滑ることができないなどの制約があるから…。でも、1年中滑ることができないなどの制約があるから…。でも、1年中滑ることができないなどの制約があるから…」

「本当はみんな連れてきたかったけれど、お金がかかるから…。でも、1年中滑ることができないなどの制約があるから…。でも、1年中滑ることができないなどの制約があるから…」

「本当はみんな連れてきたかったけれど、お金がかかるから…。でも、1年中滑ることができないなどの制約があるから…。でも、1年中滑ることができないなどの制約があるから…」

兵庫県や山梨県まで足を延ばして練習を続けてきたが、「そのたびに子供たちは学校を休まなくてはならなかった」ため、昨年の全日本ノービス選手権を制した中村愛音(こちらを連れての転居を決意した)。

関東にも通年リンクはある。だが、すでに拠点にしているコーチがいて他のコーチが移ることは

関東にも通年リンクはある。だが、すでに拠点にしているコーチがいて他のコーチが移ることは

関東にも通年リンクはある。だが、すでに拠点にしているコーチがいて他のコーチが移ることは